

LTI(Learning

Tools

Inter-

Oper-

abil-

ity)

とは、

異なる

プラ

ット

フォー

ム間

にお

ける

学習

支

援ツ

ールの

相互

運用

を可

能に

する

ため

の規

格[3]

であ

り、ツ

ール

間の

通信

プロ

トコ

ルは

HTTP

上で

のメ

ッセ

ー

ジ交

換と

して

実装

して、次のケースを想定することができ(後日詳しい図を入れる)

LTI

では、ユーザ情報や課題の進行状況を直接管理するLMSをツールコンシューマと呼ぶ。標準機能としてLTIに対応しているLMS

績反映成績反映の手順を以下に示す。

ツール・コンシューマから成績を返すパラメータ「lis_outcome_service_url」を設定し、特定のユーザーを一意的に示す、「Source-dId」をパラメータ「lis_result_sourcedid」から取得し、XML内の「Source-dId」を書き換え、ツール・